



Subaru

昇男声合唱団

ニュース No.309

11.06.29



「君の名は? 『フスカル・御手洗』
よみこむねー」

隣の裏山のビワの木に、タヌキがよじ登っていると思つてパチリ。

「ドライボーンズ」他をレッスン...6月17日(金)...

□6月17日(金)は奥村さんの体操に始まり、檀先生のヴォイストレーニングと指揮、静さんのピアノで、新曲、「ドライボーンズ」と、「絵手紙コンサート」へ向けて、創作曲の「絵手紙」と「風の花の色」、最後に「歓びのナードム」をレッスンしました。出席は34名でした。



□「歓びのナードム」は本並美德作詞
「ドライボーンズ」は檀美知生編曲、村嶋由紀子作詞
「絵手紙」は村嶋由紀子作詞、檀美知生作曲、山下和子ピアノ編曲
「風の花の色」は三牧英範作詞、村嶋由紀子編詞、檀美知生作曲、山下和子ピアノ編曲
と、我が指揮者やわが団と関係浅からぬ人びとが我々のうたう歌を作って下さっているのを、誇らしく、また、ありがたく思います。



...6月19日(日)

ねむかホール...

□6月19日(日)14時から「第1回 昇団内コンサート」が「ねむかホール」で開かれました。

□冒頭の檀先生の挨拶にあつたとおり、団内コンサートは音楽訓練の

成果の発表の場であり、合唱と違って一人だけで表現し歌いきる力量を身につけることを目標とし、また、あの人があの声をもっているとの再発見、歌を通じてのコミュニケーションの場であることから、今後の団の合唱活動のレベルを向上させることをねらいとして開かれました。

□発表したのは、個人はヴォイストレーナー2名を含め21名。グループ、パート別演奏で4グループ、それぞれ、日ごろの練習の成果を披露しました。

□個人で歌われたのは日本の歌曲が10曲で最も多く、他に、オペラ・アリアが5曲、イタリア・ドイツ歌曲が5曲、日本民謡3曲、アメリカ民謡2曲、ロシア民謡1曲、他に器楽でテナーサクソ、民謡伴奏として尺八、カルテットやパート別合唱発表もあったのは昇らしい趣向で多彩なコンサートになりました。



□ 団員のご家族や友人など10名がお客（評点者？）として参加してくださり、聴衆のほうに回った団員も含め、当日参加は48名でした。なかなか「面白かった」との評価でした。

□ ほとんど全曲のピアノを弾いて頂いた静さんに花束を贈呈して感謝の意を表しました。コンサートお膳立ての山本直一さん、ご苦労様でした。有難うございました。

□ センスのあるコンサート看板は、藤後団長に描いて頂きました。

□ 録音は本並先生、写真撮影は西島さんに引き受けて頂きました。CDは別途入手可能です。

□ コンサートの後、「興隆園」に場所を移して「反省・交流の夕食会」を開きました。



変わり種出演3態。 各演奏者の「ちゃんとした写真」？は西島さん撮影のCDでご覧下さい。



原詞は本来の「那達慕」の様子がうたわれているが、昔々、男性の武力中心の詞を現代の我々が歌うには心情的に無理がある。故に、現代のかなり様変わりした「ナーダム」ではうかがい知ることが出来ない古来の「ナーダム」の一端を中心に据えながら、少しピントを外した部分にも思いを馳せ、今回の日本語詞になった。

原譜の限られた小節数に歌詞をはめ込むため、歌う者にも、聴く側にも単純で理解容易な言葉をと心したので、通俗的言語が多いかもしれないが、原詞が昔話的性格の詞であり、その状況表現には、使い古された直入の言語も似会い、許されるかと。

依って、いずれにも見ての通り、聴いての通りをかんじていただけか。

ただ、当時、年に1度の男性の武術競技(ナーダム)は女性、子ども、老人など誰もが楽しみにし、広大な草原に生き、互いにめったに会えない身内、友人、恋人との再会の機会でもあったはずだ……。の思惑から「男も女も……」の一節を入れたが、この「男も女も……」は「全ての人々……」ということである。人間は男性と女性だけなので、幼児から古老の果てまで男性は「おれは男だ!」と思い、女性は「わたしは女よ!」と思っているだろう。その表現を「人々は……」とか「老若男女は……」などの曖昧で味気ない歌詞にしたくなかった。「男も女も……」は誰もが実感で、日本民謡同様、蒙古の土着民の“まつり”には「男も女も……」がピカイチ似合う。

(ここでふと思い出したが、我々がさんざん歌っている、きたがわてつの“まつり”の歌詞……やっぱり……)

時代が変わり、国が異なろうと、年令差に関わりなく、肉親を恋ひ友を恋ひ、異性を恋ふ心情は等しい。その心情は愛であり、真の愛は無償であり自身以外への愛を温めることが支えとなり、人生を強く生きることができるのでしょ。

最後に終章「豊かなふるさととすべてのものたち……」の「……全てのものたち……」とは人間とそれを育み守る、大地、動物、植物などの全てということ。

謝謝!



写真提供; 若園さん



西島さんの写真遊び

住吉大社の「御田植神事」は国の重要無形民俗文化財です。1800年前からの田植です。

6月14日、玉苗植うる夏は来ぬ

「この頃は 裳裾ぬらせば 文化財」

西村さんの鉄道ファン

T2の西村さんが長年撮りためた
鉄道写真の中から一部紹介します。



一度は乗ってみたい「トワイライトエクスプレス」
この写真は「1号車」。展望スイートルームのお値段は「大阪ー札幌 2人で57,280」。ただし、なかなか手に入りません。西村さんが実際に乗られた時の記念写真でしようね！？



吉松駅ー鹿児島中央駅を結び、名前どおり逞しい
風貌の特急「はやとの風」



これはまた、「よう頑張るとるね」となぜか親近感
を覚える、御坊ー西御坊のローカル電車。



おなじみ、松山は道後温泉行きの「坊っちゃん
列車」。いまはディーゼルで動いていますが、
運転席は蒸気機関車だった頃を復元していま
す。